

花乃井だより

学校
通信

令和2年6月15日(月)
第9号
大阪市立花乃井中学校

日常が戻ってきました!!

本日から通常の学校生活が再開されました。登校風景にはいつもの教職員に生徒会の執行役員のメンバーが加わり、さわやかなあいさつの声が弾みました。

運動場のコンディションが悪かったので、全校集会はありませんでしたが、各クラス40名近くの全員がそろって1週間の出発をしました。今日は給食も普段どおり、授業も6時間(45分×6)。ミーティングが中心ですが部活動も放課後スタートしました。お昼休みには暑い中、元気に運動場で遊ぶ姿もありました。また、心臓検診を実施しました。これから遅れていた健康診断もどんどん日程に入ってきます。暑いこと也有って皆さん1日疲れたことと思いますが、これからこの日常がずっと續けばいいですね。マスクをしたままの授業はあまり大きな声が出せないので、どのクラスも静かなものですが、その分、ムダなおしゃべりも無くなつて勉強に集中できたのではないで
しょうか。



(あいさつする生徒会の執行役員)

「ありがたい」の対義語は?

これまで非常事態の中で特別な生活をしてきましたが、その間、普段の「当たり前」の生活がどんなに「ありがたい」ものかを時々に痛感しました。そう「ありがたい」とは「有り難い（めったにない）」ということ。だからその対義語は「あたりまえ」となります。「有り難い」ものもちろんありがたいですが、「あたりまえ」こそありがたいものだったのですね。これからはそれを忘れずに1日1日を大切に過ごしていきたいものです。

全校集会に代えて一言

本日の全校集会でお話しようと思っていたことも、この「あたりまえ」ということ。まず今週は、「あいさつ」をあたりまえにできるようになります。せっかく全員がそろった学校生活。朝からの「おはよう」そして「こんにちは」「さようなら」、「はい」「いいえ」などの返事や「ありがとう」の感謝の気持ち等々、“あ（明るく）い（いつも）さ（先に）つ（続ける）”を実践していきましょう。

1年生の皆さん、いよいよ本格的に学校生活がスタートしました。まずはこの学校生活に早く慣れることです。そのためには勇気と好奇心を持って、できる限りいろんなことに参加していきましょう。

2年生の皆さん、今年はいろんなことにチャレンジしてください。中2時代は思いっきり中学校生活を謳歌できる時期です。もう2か月も終わってしまいましたが、まだ遅くはありません。

そして3年生の皆さん。皆さんは何といっても自分自身の進路を切り開くこと。その一生懸命な姿こそがそのまま後輩たちの良き手本となります。この花乃井中学校をよろしくお願ひします。



(各高等学校のポスター)



職員室前の鐘はかつてのチャイム!?

職員室前に吊り下げられている古い鐘。その下に由来が書いてあるので、特に1年生の皆さんには機会をつくって必ず読んでほしいと思います。碑文によると、この鐘が使用されたのは明治20年4月、花乃井中学校が江戸堀尋常小学校と呼ばれていた頃ということ。その当時の面影は全くないとのことですが、この鐘の音を聞きながら学校生活を送った方々は、まだいらっしゃると思います。実はこの前、ちょっと失礼して秘かに鳴らしてみました。まだまだきちんとしたかん高い音を出してくれました。ひょ

っとしたら、何らかの災害で現在のチャイムが使えなくなったときに、この鐘が再び活躍する日が来るかもしれません。確か、つい最近まで緊急時に時間を知らせる合図となるハンドベルが学校にはあったように思いますか……。

1949（昭和24）年に花乃井中学校という名称になってからは70年ですが、1872（明治5）年に、大阪府摂津国西区第四小学校として創設されてからは148年の歴史を刻む本校（戦後一部休校期間あり）。6月12日の創立記念日にちなんで、この地域の歴史や学校生活の移り変わりも調べてみてはいかがでしょうか。

